

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書の訂正報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第4項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成21年8月6日

**【四半期会計期間】** 第51期第3四半期(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)

**【会社名】** 株式会社 イエローハット

**【英訳名】** YELLOW HAT LTD.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 堀江 康生

**【本店の所在の場所】** 東京都中央区日本橋馬喰町一丁目4番地16号

**【電話番号】** 03(5695)1602

**【事務連絡者氏名】** 経理部長 澤木 宗郎

**【最寄りの連絡場所】** 東京都中央区日本橋馬喰町一丁目4番地16号

**【電話番号】** 03(5695)1602

**【事務連絡者氏名】** 経理部長 澤木 宗郎

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成21年2月9日に提出いたしました第51期第3四半期（自平成20年10月1日至平成20年12月31日）の四半期報告書において、繰延税金資産の回収可能性検討後の税効果会計処理に誤りがあることが判明いたしましたので、法人税等調整額と土地再評価差額金等を訂正するために四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、四半期連結財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所についてはXBRLの修正も行いましたので、併せて修正後のXBRL形式のデータ一式（表示情報ファイル含む）を関連書類として提出いたします。

## 2 【訂正事項】

### 第一部 【企業情報】

#### 第1 【企業の概況】

##### 1 【主要な経営指標等の推移】

連結経営指標等

#### 第2 【事業の状況】

##### 3 【財政状態及び経営成績の分析】

(1) 経営成績の分析

#### 第5 経理の状況

##### 2 監査証明について

#### 1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

【第3四半期連結会計期間】

【注記事項】

（1株当たり情報）

## 3 【訂正箇所】

訂正箇所は\_を付して表示しております。

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

連結経営指標等

(訂正前)

回次	第51期 第3四半期 連結累計期間	第51期 第3四半期 連結会計期間	第50期
会計期間	自平成20年 4月1日 至平成20年 12月31日	自平成20年 10月1日 至平成20年 12月31日	自平成19年 4月1日 至平成20年 3月31日
売上高 (百万円)	70,115	28,992	106,526
経常利益 (百万円)	156	945	291
四半期純利益及び 四半期(当期) 純損失( ) (百万円)	<u>3,545</u>	<u>749</u>	3,470
純資産額 (百万円)		32,816	36,628
総資産額 (百万円)		88,553	96,702
1株当たり純資産額 (円)		1,347.71	1,501.58
1株当たり四半期純利 益及び四半期(当期) 純損失( ) (円)	<u>145.62</u>	<u>30.78</u>	142.53
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益 (円)			
自己資本比率 (%)		37.1	37.8
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	2,497		4,818
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	2,136		2,458
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	4,399		1,779
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (百万円)		4,157	4,404
従業員数 (名)		2,116	2,328

～中略～

(訂正後)

回次		第51期 第3四半期 連結累計期間	第51期 第3四半期 連結会計期間	第50期
会計期間		自 平成20年 4月1日 至 平成20年 12月31日	自 平成20年 10月1日 至 平成20年 12月31日	自 平成19年 4月1日 至 平成20年 3月31日
売上高	(百万円)	70,115	28,992	106,526
経常利益	(百万円)	156	945	291
四半期純利益及び 四半期(当期) 純損失( )	(百万円)	<u>2,188</u>	<u>824</u>	3,470
純資産額	(百万円)		32,816	36,628
総資産額	(百万円)		88,553	96,702
1株当たり純資産額	(円)		1,347.71	1,501.58
1株当たり四半期純利 益及び四半期(当期) 純損失( )	(円)	<u>89.87</u>	<u>33.88</u>	142.53
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	(円)			
自己資本比率	(%)		37.1	37.8
営業活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	2,497		4,818
投資活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	2,136		2,458
財務活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	4,399		1,779
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(百万円)		4,157	4,404
従業員数	(名)		2,116	2,328

~ 中略 ~

## 第2 【事業の状況】

### 3 【財政状態及び経営成績の分析】

(訂正前)

#### (1) 経営成績の分析

～前略～

当第3四半期連結会計期間の売上高は、株式会社アイ・シー・エスからの「オートテック」および「ピット100」の屋号を有する店舗の譲受けがあったものの、カー用品市場の低迷による小売・卸売の落ち込みおよび不採算店の閉鎖等の影響により289億92百万円、売上総利益は70億20百万円となりました。また、販売費及び一般管理費は61億58百万円となりました。その結果、営業利益は8億62百万円、経常利益は9億45百万円、四半期純利益は7億49百万円となりました。

売上高の部門別内訳につきましては、卸売部門は175億14百万円、小売部門は109億58百万円となりました。

(訂正後)

～前略～

当第3四半期連結会計期間の売上高は、株式会社アイ・シー・エスからの「オートテック」および「ピット100」の屋号を有する店舗の譲受けがあったものの、カー用品市場の低迷による小売・卸売の落ち込みおよび不採算店の閉鎖等の影響により289億92百万円、売上総利益は70億20百万円となりました。また、販売費及び一般管理費は61億58百万円となりました。その結果、営業利益は8億62百万円、経常利益は9億45百万円、四半期純利益は8億24百万円となりました。

売上高の部門別内訳につきましては、卸売部門は175億14百万円、小売部門は109億58百万円となりました。

## 第5 【経理の状況】

### 2 監査証明について

(訂正前)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第3四半期連結会計期間(平成20年10月1日から平成20年12月31日まで)及び当第3四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、監査法人保森会計事務所により四半期レビューを受けております。

(訂正後)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第3四半期連結会計期間(平成20年10月1日から平成20年12月31日まで)及び当第3四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、監査法人保森会計事務所により四半期レビューを受けております。

なお、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出しておりますが、訂正後の四半期連結財務諸表について、監査法人保森会計事務所による四半期レビューを受け、改めて四半期レビュー報告書を受領しております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>固定負債</b>		
社債	2,000	2,520
長期借入金	9,337	3 12,257
退職給付引当金	2,211	2,515
負ののれん	10	-
その他	5,489	4,727
<b>固定負債合計</b>	<b>19,048</b>	<b>22,020</b>
<b>負債合計</b>	<b>55,737</b>	<b>60,074</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	15,072	15,072
資本剰余金	9,928	9,928
利益剰余金	10,382	13,677
自己株式	614	613
<b>株主資本合計</b>	<b>34,768</b>	<b>38,064</b>
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	88	327
繰延ヘッジ損益	23	6
土地再評価差額金	1,883	1,883
為替換算調整勘定	44	50
<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>1,952</b>	<b>1,499</b>
少数株主持分	-	63
<b>純資産合計</b>	<b>32,816</b>	<b>36,628</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>88,553</b>	<b>96,702</b>

(訂正後)

(単位：円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>固定負債</b>		
社債	2,000	2,520
長期借入金	9,337	3 12,257
退職給付引当金	2,211	2,515
負ののれん	10	-
その他	5,489	4,727
<b>固定負債合計</b>	<b>19,048</b>	<b>22,020</b>
<b>負債合計</b>	<b>55,737</b>	<b>60,074</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	15,072	15,072
資本剰余金	9,928	9,928
利益剰余金	11,739	13,677
自己株式	614	613
<b>株主資本合計</b>	<b>36,126</b>	<b>38,064</b>
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	147	327
繰延ヘッジ損益	40	6
土地再評価差額金	3,165	1,883
為替換算調整勘定	44	50

評価・換算差額等合計	<u>3,309</u>	1,499
少数株主持分	-	63
純資産合計	<u>32,816</u>	36,628
負債純資産合計	<u>88,553</u>	96,702

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	70,115
売上原価	51,911
売上総利益	18,203
販売費及び一般管理費	18,609
営業損失( )	405
営業外収益	
受取利息	190
グループ店店舗等賃貸収入	622
受取手数料	325
その他	433
営業外収益合計	1,571
営業外費用	
支払利息	326
グループ店店舗等賃貸原価	387
持分法による投資損失	149
その他	147
営業外費用合計	1,010
経常利益	156
特別利益	
固定資産売却益	62
投資有価証券売却益	416
貸倒引当金戻入額	20
その他	3
特別利益合計	502
特別損失	
固定資産除却損	17
投資有価証券評価損	262
投資有価証券売却損	0
たな卸資産評価損	118
減損損失	97
特別損失合計	495
税金等調整前四半期純利益	163
法人税、住民税及び事業税	232
法人税等調整額	3,476
法人税等合計	3,709
四半期純損失( )	3,545



(訂正後)

(単位：円)

当第3四半期連結累計期間  
(自平成20年4月1日  
至平成20年12月31日)

売上高	70,115
売上原価	51,911
売上総利益	18,203
販売費及び一般管理費	18,609
営業損失( )	405
営業外収益	
受取利息	190
グループ店店舗等賃貸収入	622
受取手数料	325
その他	433
営業外収益合計	1,571
営業外費用	
支払利息	326
グループ店店舗等賃貸原価	387
持分法による投資損失	149
その他	147
営業外費用合計	1,010
経常利益	156
特別利益	
固定資産売却益	62
投資有価証券売却益	416
貸倒引当金戻入額	20
その他	3
特別利益合計	502
特別損失	
固定資産除却損	17
投資有価証券評価損	262
投資有価証券売却損	0
たな卸資産評価損	118
減損損失	97
特別損失合計	495
税金等調整前四半期純利益	163
法人税、住民税及び事業税	232
法人税等調整額	2,118
法人税等合計	2,351
四半期純損失( )	2,188

【第3四半期連結会計期間】

(訂正前)

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	
売上高	28,992
売上原価	21,971
売上総利益	7,020
販売費及び一般管理費	16,158
営業利益	862
営業外収益	
受取利息	65
グループ店店舗等賃貸収入	208
受取手数料	105
その他	129
営業外収益合計	508
営業外費用	
支払利息	117
グループ店店舗等賃貸原価	180
持分法による投資損失	33
その他	94
営業外費用合計	426
経常利益	945
特別利益	
固定資産売却益	11
投資有価証券売却益	34
その他	1
特別利益合計	47
特別損失	
固定資産除却損	9
投資有価証券評価損	12
投資有価証券売却損	0
特別損失合計	22
税金等調整前四半期純利益	970
法人税、住民税及び事業税	59
法人税等調整額	162
法人税等合計	221
四半期純利益	749

(訂正後)

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間  
(自平成20年10月1日  
至平成20年12月31日)

売上高	28,992
売上原価	21,971
売上総利益	7,020
販売費及び一般管理費	16,158
営業利益	862
営業外収益	
受取利息	65
グループ店店舗等賃貸収入	208
受取手数料	105
その他	129
営業外収益合計	508
営業外費用	
支払利息	117
グループ店店舗等賃貸原価	180
持分法による投資損失	33
その他	94
営業外費用合計	426
経常利益	945
特別利益	
固定資産売却益	11
投資有価証券売却益	34
その他	1
特別利益合計	47
特別損失	
固定資産除却損	9
投資有価証券評価損	12
投資有価証券売却損	0
特別損失合計	22
税金等調整前四半期純利益	970
法人税、住民税及び事業税	59
法人税等調整額	86
法人税等合計	146
四半期純利益	824

(1株当たり情報)

(訂正前)

2 1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益

第3四半期連結累計期間

当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	
1株当たり四半期純損失	145.62円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	円

(注) 1. 当第3四半期連結累計期間の「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、1株当たり当期純損失であり、また潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり四半期純利益算定上の基礎

項目	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
四半期連結損益計算書上の四半期純損失(百万円)	3,545
普通株式に係る四半期純損失(百万円)	3,545
普通株主に帰属しない金額(百万円)	
普通株式の期中平均株式数(千株)	24,350

第3四半期連結会計期間

当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	
1株当たり四半期純利益	30.78円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	円

(注) 1. 当第3四半期連結会計期間の「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり四半期純利益算定上の基礎

項目	当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益(百万円)	749
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	749
普通株主に帰属しない金額(百万円)	
普通株式の期中平均株式数(千株)	24,350

(訂正後)

2 1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益

第3四半期連結累計期間

当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	
1株当たり四半期純損失	89.87円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	円

(注) 1. 当第3四半期連結累計期間の「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、1株当たり当期純損失であり、また潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり四半期純利益算定上の基礎

項目	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
四半期連結損益計算書上の四半期純損失(百万円)	2,188
普通株式に係る四半期純損失(百万円)	2,188
普通株主に帰属しない金額(百万円)	
普通株式の期中平均株式数(千株)	24,350

第3四半期連結会計期間

当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	
1株当たり四半期純利益	33.88円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	円

(注) 1. 当第3四半期連結会計期間の「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり四半期純利益算定上の基礎

項目	当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益(百万円)	824
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	824
普通株主に帰属しない金額(百万円)	
普通株式の期中平均株式数(千株)	24,350

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年 8月 5日

株式会社イエローハット  
取締役会 御中

監査法人 保森会計事務所

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 矢部 豊 印

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 大東 幸司 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社イエローハットの平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成20年10月1日から平成20年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社イエローハット及び連結子会社の平成20年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 追記情報

1. 継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況に記載のとおり、タームローン契約の財務制限条項に抵触する事象が存在している。当該事象により継続企業の前提に関する重要な疑義が存在している。当該状況に対する経営者の対応等は当該注記に記載されている。四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成されており、このような重要な疑義の影響を四半期連結財務諸表には反映していない。
2. 「四半期報告書の訂正報告書の提出理由」記載されているとおり、会社は金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期連結財務諸表を訂正している。当監査法人は訂正後の四半期連結財務諸表について四半期レビューを行っている。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。